

活動記録書

開催日： 令和元年7月12日(金) 天候 雨	開催テーマ： 生麦事件の現場を巡る
開催場所： 旧東海道（鶴見～生麦）	記入者： 熊谷 滋子
参加人数： 会 員 男 22名 女 5名 計 27名 ビジター 男 0名 女 0名 計 0名 合 計 27名	
<p>実施内容（実施の項目、方法、効果・成果、宿題 など）：</p> <p>コース：京急鶴見駅（集合）⇒ さぼてん茶屋跡 ⇒ JR国道駅 ⇒ 慶岸寺 ⇒ 生麦魚河岸通 ⇒ 正泉寺（法話拝聴） ⇒ 道念稲荷神社 ⇒ 生麦事件現場 ⇒ 原神明社 ⇒ 生麦事件碑 ⇒ キリン横浜ビアビレッジ（解散）</p> <p>横浜開港まもない、今から157年前の文久2年(1862)8月21日、日本の歴史を大きく変える生麦事件が起きた。生々しい話を聞きながら、その現場となった旧東海道を訪ねた。</p> <p>旧東海道は慶長6年(1601)天下を平定した徳川家康が整備。参勤交代で西国大名140数藩がこの道を通った。鶴見から生麦にかけては川崎宿と神奈川宿の間の立場(休憩所)として賑わった。</p> <p>さぼてん（霸王樹）茶屋：寛政年間に高さ3.6mの大きなさぼてん5株が珍しいと見物人が押し寄せた。明治44年の鶴見の大火で焼失。</p> <p>熊茶屋跡：立場茶屋としての多くの茶屋が工夫を凝らしていた。その中で「月の輪熊」を飼って見せ物にしていた茶屋。白熊（白子）を飼っていた茶屋もあり、シーボルトの「日本動物誌」の中に熊がいる茶屋があるとの記載あり。</p> <p>JR国道駅：昭和5年に鶴見臨港線の駅として造られたアールデコ形式の駅舎が珍しい。大正15年貨物線として始まり、昭和18年国鉄に買収され鶴見線となる。</p> <p>慶岸寺：天正年間に創建。浄土宗。門前に子育て地藏尊を祀ってある。本尊は阿弥陀如来像。</p> <p>生麦魚河岸：JR国道駅から300m程の間に約35軒の鮮魚貝店が並んでいる。開発等で漁師町が次々と姿を消していく中で、この通りが生きている背景は明治、大正、昭和に「ボテさん」と呼ばれた行商人たちの地道な努力と信用があった。</p> <p>正泉寺：（法話拝聴）真言宗智山派。本尊は薬師如来坐像。門前に亀地藏、心中者の供養塔がある。</p> <p>道念稲荷神社：毎年6月に行われる「蛇も蚊も祭り」は横浜市無形民俗文化財指定。</p> <p>生麦事件現場：文久2年（1862年）8月21日に、薩摩藩の島津久光の行列に乱入した騎馬のイギリス人を、供回りの藩士たちが殺傷（1名死亡、2名重傷）した事件。この事件から薩英戦争にまで発展する。</p> <p>原神明社：毎年6月に「蛇も蚊も祭り」が行われる。境内の片隅の道標にある岸弁才天は商人や花柳界に人気あり。</p> <p>茶屋「桐谷」：薩摩藩士に切りつけられ瀕死となったリチャードソンの落馬絶命場所。</p> <p>生麦事件碑：碑文は啓蒙思想家の中村正直、彫刻は飯島吉六。リチャードソンの絶命場所を土地の有力者黒川荘三が買い取る。設置場所を変え高架下緑地に設置し、キリンビールが管理。</p> <p>当初の7/4の予定が豪雨予報が出た為、予備日7/12に延期開催となりました。</p>	
<p>参加者の状況・意見など：</p> <p>肌寒い雨の中の半日の探訪でした。決行・延期・中止の判断や電話連絡の仕方等検討を要すると思いました。</p>	
<p>次回の予定： 8月1日（木）12時30分 金沢地区センター2F 中会議室 座学 DVD鑑賞（神宮寺・石塔寺・専修寺・浅草寺）</p>	